

発行所 株式会社 FPシミュレーション 大阪市中央区農人橋1丁目4-31 MRマエカワビル603
TEL:06-946-8011 FAX:06-946-8727

社会保険料の申告漏れ目立つ

昨年末に年末調整を終了している会社も多いが、最近、年末調整事務で社会保険料控除のミスが目立っていると、当局が指摘している。

社会保険料控除は、他の生命保険料控除や損害保険料控除のように、控除額に制限はなく、支出した社会保険料は、全額を所得金額から控除することができる。

ミスが目立つのは、学生など20歳以上の子弟の国民年金保険料を支払ったケースとされている。現在、20歳以上であれば、たとえ就職していなくても、国民年金保険料の支払いが義務づけられている。平成5年分であれば、1カ月につき1万500円と、学生などには高額であり、親が負担するケースが少なくない。

これを、うっかり「給与所得者の保険料控除申告書」に掲載し忘れるというミスが起き易い。

年間トータルで12万6,000円の控除漏れとなる訳だ。

社会保険料控除というと、健康保険料や厚生年金保険料のように、一般サラリーマンにとっては、給料から“天引き”されるみのばかりと思いがちであり、特に注意しなければならない。

なお、年末調整終了後に、社会保険料などの「控除漏れ」が明らかになった場合には、源泉徴収票を作成するまでの期間であれば、年末調整の再調整を行うことになる。

不動産市況

ローンの借り換えの見直しを

都市銀行の住宅ローン金利

時期	固定(%)	変動(%)
1986.12	7.02	6.4
1987.12	6.60	5.7
1988.12	6.60	5.7
1989.12	6.78	6.0
1990.12	8.28	8.5
1991.12	6.60	5.7
1992.12	6.60	5.7
1993.12	5.46	3.8

上記の表は都市銀行の住宅ローン金利の推移を示したものである(毎年12月末時点の金利で比較)。ご覧の通り現在の金利水準は史上最低で、過去に比べて大幅に低利である。

そのため、過去の高金利時代に固定金利で借りた人達が、借り換えに動いている。民間ローンに比べて低利の金融公庫融資でも、10年前に借りた人達は11年目以降7%を超す金利となるため、借り換えに動く訳である。バブルの時代は値上がりが大きく、ほとんど金利を気にせず借りていた人達も多い。今一度借り入れ金利を見直し、有利な借り換えをしておいた方がいいものではないでしょうか。